

看護専門科目	共通基盤看護学					
看護学科	必修	1単位	実習	平成30年度	前期	2年次
科目名	共通基盤看護学実習Ⅰ(看護過程と看護診断) Adult Health Nursing Practicum (Nursing Process and Nursing Diagnosis)					
担当教員	◎塚原節子 未定	三毛美恵子 未定	小川朋子 未定	森本 茜 未定	未定 未定	
目的	これまで学んだ看護理論・コミュニケーションの方法・看護過程と看護診断・フィジカルアセスメントに関する知識・技能・態度を統合し、看護診断の知識と結びつけて、実際の患者の情報を収集し、的確なアセスメントを行い、妥当な看護診断を導き出す基本臨床能力を身につける。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教員および指導者、スタッフおよびその関係者に自分が行おうとすることを明確に伝えられる。 2. 医療情報、看護情報、ケア場面での患者の反応の意味を考えながら、意図的に収集することができる。 3. 行われている看護活動に参加し、ケアの必要性を理解することができる。 4. 看護活動の参加にあたっては、患者の安全・安楽に配慮して振る舞うことができる。情報を収集するにあたり、患者および家族に説明と同意を得ることができる。 4. 患者および家族に対して、直接、健康/病いの経験についてインタビューする場合には、何のために、どのようなことに配慮して、どのようなことを聞くのか具体的に計画をし、指導者の了解のもとに行うことができる。 5. 具体的に計画をし、指導者の了解のもとに、フィジカルエグザミネーションの技法を用いて、患者から基本的な身体所見を収集することができる。 6. 収集した情報を、整理・解釈・統合して、看護診断を導き出すことができる。 					
他科目との関連	共通基盤看護学概論Ⅰ・Ⅱ、実践基礎論Ⅰ・Ⅱ、体のしくみと疾病の構造Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等の1年次科目 2回生前期科目、特に実践基礎論Ⅲ、共通基盤看護学実践論Ⅰ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	最終レポート				0.2
	記録等	日々の記録・看護過程の展開用紙の提出				0.7
	その他	参加の度合い				0.1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	配布する実習要項					
参考資料	関連科目のテキスト 学習課題 各自のノート					
備考 (受講上注意、事前学習等)	<ul style="list-style-type: none"> ・上記1年次科目、2年次前期科目のすべてが活用できる知識・技術となっているように事前準備を十分に行うこと。必要な資料がすぐに閲覧できるようにファイル等の準備をすること。 ・オリエンテーションへの出席は必須であり、欠席の場合には実習することができない。かつオリエンテーション内容を理解し、事前課題とされた内容に取り組むことが実習出席の要件である。 ・この実習での学習成果が、引き続き共通基盤看護学実習Ⅱの基礎になるので、確実に目標到達すること。 					